

下総航空基地部隊研修(7. 5. 30)

令和7年度千葉県隊友会事業として、海上自衛隊下総航空基地の部隊研修を実施しました。令和6年度に実施していますが、希望者多数のため第2回目として実施したものです。

- ◆ **実施日時** 令和7年5月30日(金)1000～1500
- ◆ **研修場所** 海上自衛隊下総航空基地(千葉県柏市藤ヶ谷1614番地1)
- ◆ **参加者** 大根事務局長、他45名
- ◆ **部隊対応者** 下総教育航空群司令部 広報室
- ◆ **研修項目**
 - ・基地概要説明
 - ・慰霊碑献花・参拝
 - ・P-1哨戒機の見学
 - ・基地史料室の見学
 - ・昼食(カレーライス)
 - ・P-1用OFTの見学
 - ・消防車の見学
 - ・管制塔の見学

◆ **参加者感想**

以下、研修参加者からの感想(後日メールで回答)を紹介します。

・千葉県隊友会の行事で、下総航空基地の研修に参加して参りました。元自衛官とは言っても、過去に勤務したごくごく狭い範囲しか知らない自分にとって、自分が知らない部隊等の事を知るのは、とても貴重でありがたい機会です。(陸OB A氏)

・あいにくの雨でしたが、大変素晴らしい下総基地研修を実施していただき心より感謝いたします。特に印象に残ったことは、P-1の導入が着々と進んでおり、シミュレーターを駆使した教育が完全に主流になっている現実。中型機を多数抱えるが故の基地内におけるオーストリー製消防車を含む消防能力の高さ。そして、海自が大きく体制を変えつつある現状のわかりやすい説明でした。

隊員募集に苦勞し、援護に苦勞する自衛隊を下支えすべきOBが、その現状を部隊の内外から認識・承知し、民間との橋渡し役になるに相応しい機会になりうるとも認識いたしました。

今次計画の様に、メール網を駆使することと支部を通じての重複する連絡手段により、計画を熟知し、上手く参加できました。そのことにも感謝いたします。(陸OB B氏)

・研修当日は、天候不順(雨天、気温15℃)で5月下旬にもかかわらず、鳥肌が立つ寒さでありましたが、部隊側が臨機応変に計画を変更され、我々研修側に負担がかからないように配慮して頂いたお陰で、円滑に研修を終えることができました。研修者一同、大いに満足しておりました。また、研修内容も新旧をうまく取り混ぜ、関心が引くように展示して頂き、分かりやすく興味を持って見学することができました。(海OB C氏)

・久しぶりの下総基地研修で、最近下から見上げていた P-1 哨戒機を実際に間近に見られて P-2J から P-3C の移行を思い出しました。

雨の中、臨機応変に部隊研修を支援して頂いた自衛隊の皆様に感謝いたします。今後、皆様が健康でご活躍出来ますように、願っています。(海OB D氏)

・入梅前の小雨降る天候下、退官後 17 年経過した今日、初めての下総航空基地部隊研修であった。海自航空教育部隊としての各種教育機器・器材等も隔世の感を感じつつ、今昔の大差を認識する事が出来た。

各部説明者(幹部・曹士)の的確な対応には、善く指導がされていると印象を持った。更に、30 数年前の後輩隊員から声(氏名)を掛けてもらい、立派な幹部になっていた姿に感激出来ました。(海OB E氏)

